

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（協働推進課 報告者：駒屋宏和 内線：2394）

主な取組み	協働のまちづくりの推進	No.	1
新規・拡充内容	市・地域の代表者・学識経験者による議論・協議する場（協働のまちづくり推進会議）の設置		
[平成30年7月までの進捗状況]			
<p>1. 協働のまちづくり推進会議の構成</p> <p>まちづくり協議会：全まちづくり協議会会長</p> <p>市関係部長：企画部長、総務部長、財務部長、市民活動部長、福祉部長、建設部長</p> <p>学識経験者：愛知大学 地域政策学部 鈴木誠 教授 ※推進会議会長</p> <p>2. 協働のまちづくり推進会議開催実績</p> <p>(1) 第1回推進会議</p> <p>開催日時：平成30年5月26日（土） 13時30分～</p> <p>協議内容：平成30年度モデル的事業の協議、認定</p> <p>事務局の現状及び調査結果を踏まえた追加支援策の協議</p> <p>協働のまちづくりのあり方についての議論の進め方の協議</p> <p>協働のまちづくりに関する条例等の整備に向けた進め方の協議</p> <p>まちづくり協議会への委員等の依頼 ほか</p> <p>(2) 第2回推進会議</p> <p>開催日時：平成30年7月31日（火） 13時30分～</p> <p>協議内容：平成30年度モデル的事業等の進捗状況報告</p> <p>協働のまちづくりのあり方についての議論の進め方の協議</p> <p>協働のまちづくりに関する条例等の整備に向けた進め方の協議</p> <p>平成30年7月豪雨の対応に対する意見交換 ほか</p>			
[今後の予定]			
<p>1. 開催予定</p> <p>(1) 第3回推進会議（10月初旬）</p> <p>内容：協働のまちづくりのあり方、条例等の整備に対する議論 ほか</p> <p>(2) 第4回推進会議：11月中旬</p> <p>内容：平成31年度モデル的事業の認定 ほか</p> <p>(3) 第5回推進会議：</p> <p>内容：協働のまちづくりのあり方、条例等の整備に対する議論 ほか</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（協働推進課 報告者：駒屋宏和 内線：2394）

主な取組み	協働のまちづくりの推進	No.	2
新規・拡充内容	協働のまちづくり支援金の拡充 (モデル的事業への助成、事務局人件費への助成)		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 事業目的</p> <p>(1) モデル的事業：協働のまちづくり推進会議において認定されたモデル的事業（地域課題の解決に向けた先駆的、効果的な事業）に対し追加支援を行う。</p> <p>(2) 事務局強化支援事業：円滑な事務運営を行うため、事務局人件費の確保を図り、事務局強化に取り組むまちづくり協議会に対し追加支援を行う。</p> <p>2. 平成30年度モデル的事業提案地区及び事業内容</p> <p>①空町（東）まちづくり協議会：まち協運営の活性化を目指す事業</p> <p>②丹生川まちづくり協議会：まちづくり青年部を中心に若者の参画を促進する事業</p> <p>③清見町まちづくり協議会：防災体制の構築に取り組む事業</p> <p>④久々野まちづくり運営委員会：地域のお宝マップ作成及び地域の魅力を発信していく事業</p> <p>⑤国府町まちづくり協議会：国府アーカイブス作成、国府遺産のコミュニケーターの育成を目指す事業</p> <p>3. 平成30年度事務局人件費追加支援要求地区</p> <p>要求地区数：6地区（北、新宮、丹生川、久々野、朝日、国府）</p> <p>4. 協働のまちづくり推進会議での協議結果</p> <p>(1) モデル的事業</p> <p>事業内容について推進会議にて出された意見を踏まえ、事務局がまとめた改善点を反映することを条件に、提案された全事業をモデル的事業として認定する。</p> <p>事業実施に伴う、講師謝礼や委員報酬については、一定の基準を設け運用する。</p> <p>(2) 事務局強化支援事業</p> <p>事務局人件費の追加支援にあたっては、一定の基準を設け運用する。</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>1. モデル的事業及び事務局強化支援事業交付基準の設定</p> <p>2. 平成30年度モデル的事業及び事務局強化支援事業に対する追加支援</p> <p>3. 平成31年度モデル的事業の募集及び認定（11月開催推進会議にて認定協議）</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（協働推進課 報告者：駒屋宏和 内線：2394）

主な取組み	協働のまちづくりの推進	No.	3
新規・拡充内容	協働のまちづくり人材育成への支援 （各まち協が実施する人材育成事業への講師派遣）		
[平成30年7月までの進捗状況]			
<p>1. 事業目的</p> <p>まちづくり協議会が実施する人材育成事業に、講師、指導者、コーディネーター等を派遣することで運営等を担う人材の育成を目指す。</p> <p>2. 講師派遣実績（平成30年7月現在）</p> <p>派遣地区：丹生川まちづくり協議会</p> <p>開催日時：平成30年6月29日（金） 19時～</p> <p>開催場所：古民家 田中家</p> <p>実施事業：丹生川の未来を語る若者の会</p> <p>丹生川町の若者が古民家（田中家）に一堂に会し、地域の魅力や課題の抽出、今後の目標についてワークショップ形式で語り合う。</p> <p>派遣講師：岐阜大学地域協学センター 大宮康一 准教授</p> <p>派遣目的：ワークショップのコーディネーター</p>			
[今後の予定]			
<p>1. 講師派遣事業活用の提案</p> <p>各まちづくり協議会平成30年度事業計画に基づき、講師を派遣することで、より効果的な事業が展開されると思われる事業に対し、講師派遣事業の活用を提案</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：中川 内線：2939）

主な取組み	子ども発達支援センターの強化	No.	4
新規・拡充内容	保育士研修による療育支援体制の充実		
[平成30年7月までの進捗状況]			
<p>1. 発達検査を含む心理的アセスメントの実施</p> <p>目的：必要な療育（支援）につながらない児へのアプローチや、必要な支援を検討する上で児の特性を理解する為の手段の1つとして、発達検査を含む心理的アセスメントを実施し、保護者の障害受容や関係機関の支援を助ける。</p> <p>概要：毎月2回（2日）午前に特別支援教育士（外部依頼）による発達検査及び心理的アセスメント実施</p> <p>2. 専門療育スタッフ支援事業</p> <p>目的：保育の現場に専門スタッフを派遣し、障害児支援について必要な技術的支援及び助言を行うことにより、人材養成及び専門性の向上を図り、身近な地域で適切な支援が受けられる体制を構築する。</p> <p>概要：本事業希望園へ理学療法士（外部依頼）などが訪問、前期8園14名対応（7月～8月）</p> <p>3. 療育支援マイスター養成研修</p> <p>目的：保育等の現場で中核となる保育士（療育支援マイスター）の養成とスキルアップのため、「CLMと個別の指導計画」を継続して実践する体制を構築する。</p> <p>概要：療育支援マイスターが、公立園4園での「CLMと個別の指導計画」実践支援を実施</p> <p>4. 特別支援コーディネーター研修</p> <p>目的：幼児の保育・教育の一層の充実を図り、効果的な支援を進めるために市内全保育園、幼稚園に設置している特別支援コーディネーターのスキルアップを図る。</p> <p>概要：7月31日保護者支援のための「ペアレントプログラム」研修</p>			
[今後の予定]			
<p>1. 継続実施</p> <p>2. 後期（9月）本事業の希望園を募集し、10月～11月に園訪問を実施</p> <p>3. LSSみえの講師2名による、園訪問とCLM実践研修及びワークショップを実施（8月17日、18日）</p> <p>「CLMと個別の指導計画」実践報告会（3月2日）を県とタイアップして開催</p> <p>4. 「子どもの育ちの基礎」（9月7日）・「子育てにおける保護者支援」（11月16日）2講演を子育て支援スタッフ研修と合わせて開催</p> <p>公立園4園での「CLMと個別の指導計画」作成検討会への参加</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：木岡 内線：2946）

主な取組み	子育て家庭への支援	No.	5
新規・拡充内容	子どもにやさしいまちづくり計画次期計画策定に向けた調査		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 目的</p> <p>5年毎に見直す市町村子ども・子育て支援事業計画（高山市「子どもにやさしいまちづくり計画」）の次期計画策定に伴い、子どものための教育・保育給付や地域子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査を実施。また、併せて、子育て家庭の生活実態調査から貧困に関する実態を把握するもの。</p> <p>2. 調査業務委託</p> <p>高山市における子育て支援事業のニーズを把握するとともに、現在の乳幼児から高校生までの子どもを持つ保護者及び児童生徒の生活実態を調査することで、平成31年度に行う「高山市子どもにやさしいまちづくり計画」改定にあたっての基礎資料とするための調査を委託する。</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>(1) 委託先によるアンケートの実施</p> <p>[調査対象者] ※8月下旬実施予定</p> <p><子育て支援事業ニーズ調査及び子育て家庭生活実態調査></p> <p>乳幼児（0～5歳）の保護者（1,000人）、小学生の保護者（1,000人）、中学生の保護者（500人）、高校生の保護者（500人）を無作為抽出により選定</p> <p><子育て家庭生活実態調査></p> <p>市内小学5年生、中学2年生の全児童及び生徒（約1,600人）</p> <p>(2) ワークショップ等での意見聴取</p> <p>(3) アンケート結果の入力及び分析</p> <p>(4) 調査報告書の提出</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：船谷 内線：2846）

主な取組み	妊産婦の健康支援	No.	6
新規・拡充内容	産後健診の実施（産後2週間・1ヶ月）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>産婦の健康保持増進および、精神的に不安定になりやすい母親の早期発見を図るため、平成30年4月1日以降に出産をした産婦を対象に、産後2週間および、産後1ヶ月健診を実施 （市内の出産ができる医療機関および、助産所に委託）</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦連絡会議の開催：関係機関と行政で妊産婦に対する方針等を協議する場を設ける 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：船谷 内線：2846）

主な取組み	妊産婦の健康支援	No.	7
新規・拡充内容	電子母子手帳の導入		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【目的】</p> <p>子育て世代が最も活用するスマートフォンを利用することで、健診や予防接種の受け忘れを防ぐとともに、効率的に子育てに関する情報を提供することで、楽しみながら家族皆で育児を行うきっかけ作りとする。</p> <p>平成30年4月 電子母子手帳アプリ導入機種決定（株）MTI「母子モ」 5月 母子モの名称を「さるぼぼタッチ」と決定 7月 「さるぼぼタッチ」提供開始</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業で「さるぼぼタッチ」をPR ・事業等の情報発信を充実していく 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：船谷 内線：2846）

主な取組み	妊産婦の健康支援	No.	8
新規・拡充内容	妊婦栄養支援事業の拡充（助成期間3ヶ月→妊娠期）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>妊婦の健康と胎児の健全な発達のために、不足しがちな栄養素を含む食品の一つである牛乳またはヨーグルトを定期的に摂取できるよう助成期間や申請方法を見直し、利用しやすい制度とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成期間を3ヶ月間から出産予定日までに変更 ・代理受領制度を導入（本人は個人負担分のみ飛騨酪農に支払い、市補助金は飛騨酪農が利用者からの委任を受けて市へ請求） ・市の助成は1ヶ月単位から1本単位に変更 <p>・7月20日までの申請者 47名</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時や妊婦教室時に事業のPRを行っていく 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：木岡 内線：2946）

主な取組み	子育て家庭への支援	No.	9
新規・拡充内容	放課後児童クラブの増設（新たに国府小学校区クラブを設置）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 目的 保護者が仕事などにより、下校時に家庭にいない児童のために、放課後児童クラブにおいて適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図るもの。</p> <p>2. 概要 こくふ保育園の民間移譲に伴い、国府児童館を建設し、児童館に国府小学校区の放課後等児童クラブの機能を設けるもの。 クラブ名：国府小なつめクラブ 供用開始：平成30年4月1日から 開設時間：月曜日から金曜日 下校時～午後6時30分 夏休み等長期休暇 午前8時～午後6時30分 利用料：月額3,000円 利用登録者：71名（平成30年7月末現在） 定員80名 小1：28名・小2：20名・小3：21名・小4：1名・小5：0名 小6：1名</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>継続実施</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：木岡 内線：2946）

主な取組み	子育て家庭への支援	No.	10
継続	放課後児童支援員の処遇改善に対する助成		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>※平成29年12月補正（平成29年4月から適用）</p> <p>1. 目的 放課後児童支援員の人材確保のため、放課後児童クラブに従事する放課後児童支援員の勤続年数や研修実績に応じた賃金改善に要する費用を助成するもの。</p> <p>2. 概要</p> <p>事業名 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業</p> <p>補助金 国 1/3・県 1/3・市 1/3 子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業（その他分））</p> <p>実績 補助金 7,700千円 対象者 47名（常勤 30名・非常勤 17名）</p> <p>補助単価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童支援員：124,000円（年額） ・概ね経験年数5年以上の放課後児童支援員で一定の研修を受講したもの：248,000円（年額） ・概ね経験年数10年以上の放課後児童支援員で一定の研修を受講した事業所長的立場にある者：372,000円（年額） 			
<p>[今後の予定]</p> <p>継続実施</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：藤白 内線：2947）

主な取組み	子育て家庭への支援	No.	11
新規・拡充内容	市総合福祉センターでの夜間保育の実施		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 夜間保育所の開設 平成30年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 安心して子どもを預けられる環境を整備することにより、勤労者の多様な労働を支援するとともに市内の事業所等の労働力確保を促進する。 ・概要 高山市総合福祉センター内で業務委託により実施 定員：10名 対象児：1歳から就学前の幼児 開設日及び開設時間：月曜日～土曜日（祝日及び12月29日から1月3日までを除く） の午後5時半から午後10時半まで 利用料金：1,000円/1日 <p>2. 利用実績（7月末現在）</p> <p>登録児童数 12人 延べ利用数 42人</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズを把握し、今後の事業内容について検討する。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：木岡 内線：2946）

主な取組み	子育て家庭への支援	No.	12
新規・拡充内容	病児保育室の拡張に対する助成（定員6人→12人）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 目的 保育を必要としている乳児・幼児又は保護者の労働もしくは疾病その他の事由により家庭において保育を受けることが困難となった小学校に就学している疾病児童に病院等において、保育を行う。</p> <p>2. 概要 平成29年度には、病児保育事業の受入対応ができないケースが300件近くあり、増加傾向にある病児保育ニーズに現状の定員では対応しきれないため、定員を6名から12名に増やし、安心して利用できる病児保育体制を整える必要があり、拡張工事に対する助成を実施する。 また、高山市子どもにやさしいまちづくり計画の「提供体制の方向性」として、将来への利用の増加見込みに対応するため、利用定員を増やすなどサービス提供体制の充実を図る計画としており、必要な整備を行う。</p> <p>3. 予算 6,750千円 病児保育室整備補助金 総事業費 7,500千円（国3/10・県3/10・市3/10・実施者1/10）</p> <p>4. 進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬 内閣府への協議書の提出（病児保育室プティそれいゆ 大規模修繕） ・ 6月28日 内閣府からの内示（平成30年度子ども・子育て支援整備交付金） ・ 6月29日 医療法人同仁会から市へ補助金申請の提出・交付決定 ・ 7月中旬 内閣府への交付申請の提出 ・ 8月現在 医療法人同仁会と設計会社との契約＜設計中＞ 			
<p>[今後の予定]</p> <p>施工スケジュール等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月中旬 着工予定 ・ 12月中旬 完成予定 ・ 12月下旬 事業開始予定 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（商工課 報告者：二村 伸一 内線：2208）

主な取組み	人材の育成・確保	No.	13
新規・拡充内容	事業所内保育施設に対する助成（夜間保育に対する助成を追加）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 事業所内保育施設に対する助成（平成30年度は夜間保育に対する助成を追加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 社会経済構造の変化に伴い働き方や環境が多様化する中で、深刻化する市内企業の人手不足への対応が喫緊の課題になっており、子育て世帯が働きやすい環境整備を推進する。 ・平成30年度から、市内企業の労働力確保に向けた事業所内保育の取り組みをより一層促進するため、夜間保育に対する助成を追加するなど中小企業事業所内託児施設整備・運営事業補助制度において拡充を行った。 <p>2. 補助金支給実績 平成29年度 2事業所</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施事業所を増やせるよう事業所内保育施設に対する助成事業の周知に努めていく。 ・ 子育て支援課と連携し、子育て世代が安心して働くことができる環境を創出するための取り組みについて今後も研究していく。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：藤白 内線：2947）

主な取組み	保育サービスの充実	No.	15																				
継続	公立保育園の運営、私立保育園への委託、保育料軽減、私立保育園の運営に対する助成、私立保育園の特別保育サービスに対する助成																						
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>・目的</p> <p>就労等で保育が必要な児童を安全に保育し、健やかな成長を図るため公立保育園、私立保育園において各種保育サービスを実施、または実施に対して助成する。</p> <p>平成30年4月1日現在 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>園数</th> <th>園児数</th> <th>3歳未満児</th> <th>3歳以上児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>9</td> <td>495</td> <td>140</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>16</td> <td>1,922</td> <td>587</td> <td>1,335</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>2,417</td> <td>727</td> <td>1,690</td> </tr> </tbody> </table>					園数	園児数	3歳未満児	3歳以上児	公立	9	495	140	355	私立	16	1,922	587	1,335	合計	25	2,417	727	1,690
	園数	園児数	3歳未満児	3歳以上児																			
公立	9	495	140	355																			
私立	16	1,922	587	1,335																			
合計	25	2,417	727	1,690																			
<p>[今後の予定]</p> <p>・保育ニーズを把握し今後の事業内容について検討する。</p>																							

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（教育総務課 報告者：三浦 内線：2342）

主な取組み	幼児教育の推進	No.	16
継続	私立幼稚園の運営・保育料軽減に対する助成、私立幼稚園への施設型給付		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1 私立幼稚園の運営・保育料軽減に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 <p>国の幼児教育無償化に向けた段階的取組の中で、私立幼稚園就園奨励費補助金の国庫補助が毎年のように見直しが行われていることに伴い、高山市における私立幼稚園就園奨励費補助金についても合わせて見直しを行っている。</p> ・実績 <p>平成29年度は、低所得の多子世帯及びひとり親世帯等の保護者負担の軽減について見直しを行った。</p> <p>2 私立幼稚園への施設型給付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 <p>平成29年度4月より、特定教育・保育施設（子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園 1園）に対し負担金を交付した。（H29 施設型給付負担金 71,811千円）</p> ・実績（参考） <p>平成30年度 7月分負担金まで交付済み。</p> 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業を継続し、幼児教育環境の充実を図る。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：藤白 内線：2947）

主な取組み	保育施設の整備	No.	18
新規・拡充内容	私立保育園の整備に対する支援（高山南保育園園舎増築・本母保育園園舎新築）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>・目的 私立保育園の老朽化等に伴う建替えや改修を促進し、保育環境の整備をすすめる。</p> <p>南保育園（H29・H30） ※平成31年1月31日完成予定 H29 市交付額 3,724千円（内、1,775千円 国庫補助） H30 市交付額 188,537千円（内、89,842千円 国庫補助） ※6月22日付け交付決定</p> <p>本母保育園（H30・H31） ※H31年10月完成予定 H30 市交付額 56,694千円（内、27,628千円 国庫補助） ※6月22日付け交付決定</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗を確認し適切な補助金執行に努める。 ・各法人の整備計画を確認し、市の整備計画に反映させる。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（子育て支援課 報告者：藤白 内線：2947）

主な取組み	保育施設の整備	No.	19
新規・拡充内容	保育室の快適性向上（公立保育園の全保育室へのエアコン設置）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の保育室等にエアコンを設置（設置済み） 8保育園 32台 <p>契約は地域ごとに3つに分けて発注 契約額合計 6,882千円（予算9,500千円）</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な保育園の環境整備について検討する。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（教育総務課 報告者：田中 内線：2347）

主な取組み	学校における安全安心の確保	No.	20
新規・拡充内容	学校施設の長寿命化改修（新宮小・丹生川中）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、本郷小学校及び清見中学校校舎の大規模改修工事を実施しており、本年9月に完成予定。[継続事業 H28～H30] ・新宮小学校及び丹生川中学校校舎は平成29年度に長寿命化改良工事のための耐力度調査を実施し、現在、平成31年度着工に向けた詳細設計業務を発注している。 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年6月に新宮小学校及び丹生川中学校校舎の長寿命化改良工事を着工し、平成33年3月の完成を見込む。[継続事業 H31～H32] 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（教育総務課 報告者：門前吉景 内線：2348）

主な取組み	学校における安全安心の確保	No.	21
新規・拡充内容	屋内運動場ガラス飛散防止改修（北小・山王小・久々野小・花里小・東山中）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 小中学校屋内運動場の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付け、児童生徒及び学校開放、避難所等で同施設を利用する市民の安全安心を確保する ・進捗状況 4月～6月 現地調査（4小学校、1中学校） 9月～ 設計 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月～12月 工事 ・H30～H35の6カ年計画（別途、屋内運動場改修工事による実施あり） 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	学びのセーフティネットの構築	No.	23
新規・拡充内容	特別支援員・保健相談員の拡充		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>小学校16校に特別支援員38人保健相談員36人、中学校9校に特別支援員15人保健相談員10人配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級における学習支援や見守りによる支援 ・インクルーシブ教育(障がいのあるものと障がいのないものが、可能な限り共に学ぶ)実現のために、特別支援学級の児童生徒が安心して学校生活を送ることができるための支援 ・教室に入りづらい児童生徒や心に悩みをもつ児童生徒への支援 ・学級担任が見逃してしまいそうな、子どもの学習上・生活上のつまずきを早期に発見し担任等に伝え、問題解決や有効な支援方法につなげる。 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の支援を継続し、引き続き支援が必要な児童生徒に寄り添い、個性や能力を伸ばしていく。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	学びのセーフティネットの構築	No.	24
新規・拡充内容	新入学学用品費等を入学前に支給		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>(事業内容)</p> <p>・経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を入学後に行っていたが、H31.4 入学予定の児童生徒からを対象に、新入学に必要な学用品費等を購入するための費用を入学前に援助し、保護者の負担を軽減するよう事業の拡大を図った。</p>			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月 広報にて制度周知 ・ 10月 新小学1年生 入学予定の小学校の入学前健康診断時に保護者に周知・案内 新中学1年生 在籍の小学校を通して保護者に周知・案内 ・ 12月 申請書類受付開始 ・ 1月 定例委員会に議案提出 ・ 2月 認定者に振込 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（企画課 報告者：大川 内線：2436）

主な取組み	いじめ等対策の推進	No.	25
新規・拡充内容	児童生徒等の重大事態調査委員会の設置		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 児童生徒等の重大事態調査委員会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 <p>市が設置する学校等において、いじめ及び校内暴力、学校管理下における事故等により、児童生徒等の心身にかかわる重大事態が発生した際に、その事実関係を明確にし、当該重大事態に対処するとともに、同種の事態の再発防止を図る。</p> ・平成30年4月12日 児童生徒等の重大事態調査委員会委嘱状交付式を開催 <p>条例に定める法律、医療、教育、心理、福祉等に関する有識者5名を委嘱</p> <p>2. 委員会開催実績</p> <p>(1) 平成30年4月12日 第1回委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山市教育大綱、妊娠期から成人に至るまでの子育て支援の取り組み、小中学校におけるいじめ対策等の現状について報告し、情報共有を行った。 ・重大事態発生時の委員会の対応について確認した。 			
<p>[今後の予定]</p> <p>(1) 重大事態発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒等の生命・心身に関わる重大事態：委員会を開催 ・その他の重大事態：総合教育会議で調査・対応方針を協議し、必要に応じて委員会を開催 <p>(2) 平時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度は、市の取り組み状況や学校等のいじめ対策の現状などについて情報共有を行うほか、重大事態には至っていないがその恐れのある事案に対し、教育委員会の求めに応じて委員が支援を行う。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：池上 内線：2846）

主な取組み	いじめ等対策の推進	No.	26
新規・拡充内容	自殺対策推進計画（仮称）の策定		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 高山市自殺対策計画推進本部会議開催 高山市自殺対策計画推進本部ワーキング会議開催 ・ 6月 高山市健康づくり推進協議会専門部会開催 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本部会議、ワーキング会議 随時開催 ・ 8月 健康づくり推進協議会専門部会開催、協議 ・ 9月 委員会協議 ・ 9月～10月 パブコメ実施 ・ 12月 計画策定、委員会報告、公表 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	I C T教育の推進	No.	27
新規・拡充内容	I C T機器を活用した教育の推進		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 小学校で使用する電子黒板の導入 ・タブレット端末 特別支援学級の異学年が混在する学級で使用するタブレット端末の導入 使用方法や使用アプリを検討するワーキンググループの設置 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 9月～ 授業において英語教材などを使用し活用 ・タブレット端末 9月～ タブレット端末においてアプリ等を活用し、授業支援を行う。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：神谷 内線：2804）

主な取組み	健康増進の推進	No.	28
新規・拡充内容	健康ポイント事業の実施		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>健康ポイント事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 <p>市民の健康づくりに関する取組みをポイントとして記録し、一定以上のポイントを取得した者に対して賞品を贈ることにより、市民が自らの健康に関心を深め、健康診査の受診や生活習慣の改善など、健康づくりに積極的に取り組むきっかけとする。</p> ・進捗状況 <p>広報たかやま（6月15日号）に、健康ポイント制度の紹介及びポイントを記録するカード（4枚）を折り込み、全世帯に配布した。</p> 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月～12月 <p>実践した内容に応じてポイントを保有</p> ・平成30年9月～平成31年2月 <p>6ポイント以上貯まったら、健康推進課又は各支所窓口へ提出し景品と交換</p> 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（健康推進課 報告者：池上 内線：2846）

主な取組み	健康増進の推進	No.	29
新規・拡充内容	飛騨地域3市1村の連携による若年層の健診受診の促進に向けた取り組み（H29は高山市単独）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2月～3月 3市1村の担当課長、保健師による打ち合わせ 中学3年生以上の市民、村民を対象とした健康診査を実施する 健康診査の内容をできるだけ統一する 高校生の健診については、案内チラシを高校を通じて配布できるよう統一の様式とする ・4月～5月 高校生への案内チラシの作成 ・5月下旬 3市がそれぞれ市内にある高校へ案内チラシを配付していただくよう依頼 ・6月～8月 各市村において健康診査、保健指導の実施 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診の集計結果について、各市村の特徴や比較などの分析を行い、中学校や高校と課題を共有しながら、31年度の保健指導、健診受診勧奨につなげる 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（企画課 報告者：田中 内線：2434）

主な取組み	大学連携の推進	No.	30
継続	大学連携センターに対する助成、大学と連携した調査事業等の実施		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 大学連携センターに対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）飛騨高山大学連携センターの運営費に対する助成 <p>2. 大学と連携した調査事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学連携センターへの業務委託により、大学との連携による調査研究を実施中 「下町」まちのデザイン調査研究、担い手育成の仕組み作り調査研究など ・ 大学連携センターを窓口として様々な大学活動の誘致、支援を実施中 平成29年度は32大学、約1,000人の大学教授や学生を受け入れ 平成30年度は10大学、228人の大学教授や学生を受け入れ（7月末現在） 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、大学との連携による調査研究を実施し、平成31年3月までに成果とりまとめ ・ 引き続き、様々な大学活動の誘致、支援を実施 ・ 平成30年9月に、大学フェア in 飛騨高山を開催予定（参加大学数26） 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（企画課 報告者：前田研治 内線：2434）

主な取組み	若者の活躍するまちづくりの推進	No.	31
新規・拡充内容	・若者を中心とした活動拠点の整備（土地・建物の取得、設計）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【土地・建物の取得】</p> <p>4/23 市評価委員会で価格決定</p> <p>4/25 土地建物購入に係る契約伺い起案</p> <p>5/1 契約締結</p> <p>6/15 所有権移転登記後、代金の支払い完了</p> <p>【設計及び監理業務の委託】</p> <p>5/7 契約伺起案</p> <p>5/30 契約締結、調査・耐震設計を実施中</p> <p>【公募市民による検討会】</p> <p>5/14 第1回検討会（文化財勉強会）</p> <p>6/4 第2回検討会</p> <p>6/10 第3回検討会（横浜国立大学野原ゼミによる現地でのワークショップ）</p> <p>【地域（鳩峯車組）との意見交換会】</p> <p>6/19 想定する主な課題と事務局の考え</p> <p>7/31 整備方針(案)</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>年度内に詳細設計を終えられるよう、公募市民による検討会、地域との意見交換を平行して進めつつ、整備方針の市内部での協議決定、市議会協議、パブリックコメントなど必要な手続きを進める。</p> <p>来年度の整備工事や備品等の調達のため、必要品のリストアップなどを進める。</p> <p>地域や関係団体等とも協議のうえ、運営方法の検討を進める。</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（教育総務課 報告者：巢内崇博 内線：2347）

主な取組み	高等教育等への支援	No.	32
新規・拡充内容	高校生の遠距離通学者に対する助成		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 <p>高山市在住の高校生が、公共交通機関又は下宿等を利用し飛騨地域の高等学校に通学する際にかかる経済的負担を軽減することにより、子育て家庭の支援や高校生の修学促進、子どもを育てやすい環境整備をすすめる</p> <p>[概要] 対 象 公共交通(通学定期券)、原付、保護者送迎、下宿等による通学 補助額 通学定期券代の1/3（原付、送迎は1/4）、上限年額8万円</p> ・進捗状況 <p>4月～ 学校訪問、チラシ配布、広報、ラジオ等による周知 6月～ 申請受付</p> 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> 随 時 申請受付、補助金交付、実績確認 随 時 事業制度の周知 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（生涯学習課 報告者：中島 内線：2361）

主な取組み	地域づくりにつながる学習機会の提供	No.	33
継続	生涯学習講座の開催、放送大学岐阜学習センター高山分室の運営、生涯学習人材登録制度		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 生涯学習講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師等検討中 <p>2. 放送大学岐阜学習センター高山分室の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第1学期在籍者数 76名（平成30年5月1日現在） <p>3. 生涯学習人材登録制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2月 人材リスト作成（36名、41団体登録） ・平成30年3月 人材リスト公開（HP、関係機関84ヵ所へ配布） ・平成30年4月 広報たかやま等に制度の周知と活用の促進の記事を掲載 <p>平成30年6月末現在 3名の登録者が12回活動</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>1. 生涯学習講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化に関する講座 めでた講座 平成30年10月～11月に 計6回開催予定 ・食文化に関する講座（郷土料理教室）、地域づくり型生涯学習の推進に向けた講座（講演会）等の開催計画 <p>2. 引き続き放送大学岐阜学習センター高山分室を運営</p> <p>3. 生涯学習人材登録制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き制度の周知と活用促進を図る ・地域づくり型生涯学習の推進に向けた講座（講演会）の開催計画 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（生涯学習課 報告者：谷口 悠耶 内線：2350）

主な取組み	生涯学習の推進	No.	34
新規・拡充内容	子ども夢創造事業（科学・ものづくり）の充実		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 事業概要</p> <p>(1) 目的</p> <p>子ども達の科学に対する関心を高めるとともに、ものづくりを通じた職業意識を高める。</p> <p>(2) 内容（拡充）</p> <p>①施設見学（対象拡大：小学校3年生から中学3年生）、②ものラボワークショップ（参加定員拡大：30名及び連携強化）、③科学ひろば（体験内容、高校等の連携）、④講演会</p> <p>2. 個別事業の実施状況</p> <p>①施設見学（京都大学飛騨天文台、中部電力高根第一ダム・発電所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込者数：天文台 51名、高根第一ダム 51名 ・ 豪雨災害：京都大学飛騨天文台から飛騨プラネタリウムに変更 ・ 飛騨プラネタリウム施設見学実施（7月23日）：参加者 28名 ・ 中部電力高根第一ダム・発電所実施（8月6日）：参加者 45名 <p>②ものラボワークショップ（高山市民文化会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参画：東京大学牧野研究所、和井田製作所、シチズン時計、高山工業高校 ・ 申込者数：143名、定員：30名、参加者：29名（4日 保護者等：30名） ・ 第7回ものラボ高山キャンプ実施（8月1日～4日開催） 工業高校生徒研修（1日）、オリエンテーリング・ピタゴラ他（2日）、オリジナルうで時計制作他（3日）、講演会：東京大学 牧野教授（4日） <p>③科学ひろば（高山工業高校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申込者数：269名、定員：120名、参加者：109名（保護者等：64名） ・ 科学ひろば実施（8月8日開催） ・ 体験：写真立て・木ホルダー、ハンドスピナー・キーホルダー、LEDキャンドル、飛行機 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回目の科学ひろばの実施 ・ 講演会の実施 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（スポーツ推進課 報告者：板屋和正 内線：2357）

主な取組み	高トレエリア構想の整備	No.	35
新規・拡充内容	高地トレーニングエリア構想に基づく整備		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニングエリア構想の策定 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づく整備の実施 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（スポーツ推進課 報告者：板屋 和正 内線：2357）

主な取組み	スポーツ活動の充実	No.	36
新規・拡充内容	子ども夢創造事業（スポーツの充実）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FC岐阜（継続：契約済） サッカー教室等の開催 ・飛騨高山ブラックブラックブルズ岐阜（継続：契約済） ハンドボール教室等の開催 ・トップアスリートによる指導（継続：関係団体と調整中） ・ジュニアゴルファー育成（新規：関係事業者と調整済） 市内4ゴルフ場において、ゴルフ教室の開催（9月～） 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の実施 ・トップアスリートによる指導について、実施協議を決定し、契約、事業実施 ・ジュニアゴルファー育成について、関係ゴルフ場と契約、事業実施 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（スポーツ推進課 報告者：板屋 和正 内線：2357）

主な取組み	スポーツ活動の充実	No.	37
新規・拡充内容	飛騨高山ブラックブルズ岐阜への助成		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山市体育振興事業補助金交付要綱を改正し、飛騨高山ブラックブルズ岐阜への補助金交付を追加 ・5月補助金交付 			
<p>[今後の予定]</p> <p>特になし</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（生涯学習課 報告者：栃原 奈央子 内線：2350）

主な取組み	文化芸術の振興	No.	38
新規・拡充内容	「こだま〜れ 2019」に向けた準備		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行委員会の設立（平成30年4月17日） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場の市民が協働して「市民が主役の文化芸術祭」を企画・運営することにより、「誰もが身近に感じ、誰もが参加・行動する文化芸術祭」を目指す。 2. 実行委員会、実行委員会プロジェクト <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1回実行委員会開催（平成30年5月9日） <ul style="list-style-type: none"> ・「こだま〜れ 2019」の開催趣旨、前回の検証結果確認、方針 ・プロジェクトの提案依頼 (2) プロジェクトの提案状況（平成30年7月6日締切り） <ul style="list-style-type: none"> ・委員提案：18件 事務局提案：6件 3. 市民提案プロジェクト、市民応援プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクト募集開始（平成30年5月15日） ・市民提案プロジェクト説明会（平成30年6月） 			
<p>[今後の予定]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行委員会、実行委員会プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ○平成31年3月中旬までに5回の実行委員会を開催予定 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会プロジェクトの選考及び決定 ・市民提案プロジェクト、市民応援プロジェクトの選考・採択 ・PR活動など 2. 市民提案プロジェクト、市民応援プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月 市民提案プロジェクト説明会 ・平成30年9月7日 各プロジェクト募集締切り ・平成30年10月上旬 市民応援プロジェクト2次募集開始 ・平成31年2月上旬 市民応援プロジェクト2次募集締切 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（生涯学習課 報告者：栃原 奈央子 内線：2350）

主な取組み	文化芸術の振興	No.	39
新規・拡充内容	子ども夢創造事業（文化芸術）の充実		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>1. 事業概要</p> <p>(1) 目的 幼い頃から文化芸術を身近に体感できる機会の充実を図り、文化芸術への興味関心を持つきっかけをつくる。</p> <p>(2) 内容 文化芸術の専門家によるワークショップ（市外訪問型及び市内招待型）の実施</p> <p>(3) 拡充内容 文化芸術活動に興味関心を持つきっかけづくりを毎年、2回以上実施し、文化芸術を体験できる機会の質的量的な充実（拡充）実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外訪問型及び市内招待型を毎年継続実施 ・市外訪問型のニーズを把握したうえで、市内招待型を実施（事業連続性強化） <p>2. 市外訪問型ワークショップ</p> <p>○「わたしも一日芸大生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間：7月17日～8月7日 ・申込者数：83名 			
<p>[今後の予定]</p> <p>1. 市外訪問型ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月22日 「わたしも一日芸大生」（名古屋芸術大学）実施 ※参加者アンケートによるニーズ把握 <p>2. 市内招待型ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月～ 実施内容検討（市外訪問型でのニーズ結果反映） ・平成31年1月 実施内容決定 ・平成31年3月 市内招待型ワークショップ実施 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（文化財課 報告者：牛丸 内線：2356）

主な取組み	文化財の保存	No.	40
新規・拡充内容	景観刷新事業と連携した町並み景観向上（吉島家土蔵修理ほか）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【目的】 高山市景観まちづくり刷新モデル地区内において、重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理修景を行うことにより、魅力ある景観を創出し、観光客の周遊性向上を図る。</p> <p>【概要及び実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○吉島家土蔵修理工事 国指定重要文化財吉島家住宅に付属する土蔵（未指定、伝建地区の特定物件、市所有）の維持のため修理工事を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・修理工事設計監理業務委託契約 6/20 ○日下部家土蔵修理工事 国指定重要文化財日下部家住宅に付属する土蔵（未指定、伝建地区の特定物件）の景観向上のため、雨水等により破損している覆い壁の修理を補助する。 <ul style="list-style-type: none"> ・修理に関する打合せ等 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○吉島家土蔵修理工事 <ul style="list-style-type: none"> ・修理工事契約（8月予定） ○日下部家土蔵修理工事 <ul style="list-style-type: none"> ・修理に対し補助（秋の高山祭の後を予定） 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（文化財課 報告者：牛丸 内線：2356）

主な取組み	文化財の保存	No.	41
新規・拡充内容	高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【目的】 かつて存在していた高山祭屋台や失われつつある伝統行事、支所地域に存在する屋台などの調査を行うことにより、歴史的経緯を把握するとともに価値づけを行う。また、その重要性を再認識するとともに、文化財指定や財政支援なども検討を行い、高山らしい伝統行事存続のための意識高揚を図る。</p> <p>【概要及び実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高山から他地域へ移動した屋台の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・下呂市金山町下原の屋台調査（直営、現鳩峯車組の屋台が移されたとされる）。 ○高山祭の失われた屋台の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・現在は屋台が失われているもののかつてはあった屋台について調査。調査成果は飛騨高山まちの博物館企画展「失われし屋台の面影」にて展示。 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高山から他地域へ移動した屋台の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町屋台（3台）、荘川町屋台等の調査 （大学連携センター等への委託も検討） ○桜山八幡宮の例祭に合わせかつて屋台のあった屋台組の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・牛若台組で燃え残ったとされる緋羅紗幕、雲龍の水引幕、天幕、簾、弁慶の長刀などの調査。 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（文化財課 報告者：牛丸 内線：2356）

主な取組み	日本遺産等の活用	No.	42
新規・拡充内容	日本遺産等の地域資源の活用に向けた調査 (国府荒城地区・高根日和田地区)		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【目的】 国府及び高根地域の住民が誇りに思っている資源（日本遺産構成文化財や石仏等を含む歴史的資源）について、地域住民と協働して活用策の検討と必要な整備（ソフト・ハード両面）に取り組むことで、地域の活性化と地域資源の保全を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力や価値の共有 ・地域資源の磨き上げによる持続可能な地域づくりの促進 ・地域資源のブランド力向上 <p>【概要及び実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち協、地域団体、大学などとの打合せ実施 ・大学連携センターと委託契約 7/24 			
<p>[今後の予定]</p> <p>【国府地域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源の事前調査及び地域住民との意見交換会 2. (仮称)日本遺産等資源を活用した地域活性化検討委員会の開催 3. フィールド調査 7月～10月 (2泊3日) 4. まち協主催のツアーへの参加 5. 分析、研究、提案のとりまとめ 10月～12月 6. 調査結果の報告、提案 平成31年1月～2月 <p>【高根地域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源の絞り込み 2. フィールド調査 7月～10月 (1泊2日、2泊3日程度) 3. 分析、研究、提案のとりまとめ 10月～12月 4. 調査結果の報告、提案 平成31年1月～2月 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（文化財課 報告者：石原 内線：2977）

主な取組み	歴史的風致の維持向上	No.	43
新規・拡充内容	飛驒高山まちの体験交流館の管理運営、体験交流等の企画運営委託（7月開館予定）		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>【目的】</p> <p>旧森邸及び周辺施設を歴史的風致を向上させる拠点施設として整備し、飛驒高山まちの博物館と一体的に活用することで伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る。また、防災機能を併せ持たせるとともに、伝統的建造物群保存地区と調和した町並みの整備を図る。</p> <p>【概要及び実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験交流館の内覧会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・5/28 地域住民や報道関係者など約50名を対象に内覧会を実施した。 ○体験交流館の開館 <ul style="list-style-type: none"> ・7/18 関係者や地域住民など約100名参加のもとオープニングセレモニーを開催し、テープカットや森下町の小中学生を含む獅子保存会による獅子舞の披露があった。 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験交流館の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・貸館等による体験交流館の継続した運営管理の実施と利用の促進 ○体験交流等の企画運営 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントや体験メニューによる市民や観光客との交流促進 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	自ら学び考える力の育つ教育の推進	No.	44
新規・拡充内容	ふるさと魅力体験学習の推進		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 小学校1校が県内の施設を訪問し、見学及び体験を実施。総合学習において体験を通じた学習を行い、ふるさと教育の取り組みを推進 			
<p>[今後の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月～11月 小学校7校、中学校2校が県内施設を訪問し、様々な体験を通じて、ふるさと教育の取り組みを推進 			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	自ら学び考える力の育つ教育の推進	No.	45
新規・拡充内容	カリキュラム・マネジメント充実事業		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・学校・地域実態を把握した上で、生徒に必要な資質や能力を明確にする。 ・資質や能力を育むために、教科に縛られることなく横断的な視点を含めた研究をする。 ・学びの質を高めるために、一日の日課を見直し、個に応じた指導の充実を図る。 <p>スケジュール</p> <p>4月 ・学校で育成すべき資質・能力を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課を見直し50分授業を45分に短縮し、生み出した5分で生徒が主体となって学びを深める「かぶらやタイム」を導入 <p>6.7月 ・「かぶらやタイム」で理解を高め解決する力を養い、より発展的に課題に挑戦する力を醸成する。</p> <p>6月 ・上記活動の報告、専門的知見者からの助言</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>8月 講演会</p> <p>9月 専門的知見者からの助言及び活動についての生徒への調査</p> <p>11月 成果発表、課題抽出</p> <p>12月 活動についての生徒への調査</p> <p>2月 課題を整理し、来年の取り組みを調整</p>			

高山市教育大綱の推進に向けた取組状況等について（報告書）

（学校教育課 報告者：中井 亜紀子 内線：2358）

主な取組み	自ら学び考える力の育つ教育の推進	No.	46
新規・拡充内容	道徳教科化に伴う指導書の購入		
<p>[平成30年7月までの進捗状況]</p> <p>目的 生きるための基礎となる道徳性を養うため道徳的価値についての理解を基に、自己をみつめ、生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p> <p>学習内容 善悪の判断、自立、自由と責任、正直誠実、節度、個性の伸長、希望と勇気、親切感謝など</p> <p>スケジュール 指導計画に基づき、4月から授業開始</p>			
<p>[今後の予定]</p> <p>・指導計画に基づき、授業継続</p>			